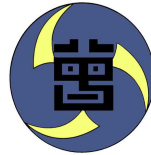


曾根小だより



発行：新潟市立曾根小学校

新潟市西蒲区曾根 750 (〒959-0422)

Tel.0256-88-3128 (代) Fax.0256-88-3129

E-mail:e803daikan@city-niigata.ed.jp

特別号 (学校評価のお知らせ)

HP <http://www.nishikawa-sone-e.city-niigata.ed.jp/>



令和5年度 学校評価最終報告

日頃より当校の教育活動に御理解と御協力をいただきありがとうございます。保護者・地域の皆様の御協力により無事、年度末・学年末を迎えることができました。

当校は、学校教育目標「ともに かがやく」のもと「主体的・対話的で深い学びをめざした授業づくり (授業改善)」「自己肯定感を育む教育活動 (心の教育)」「思いやり、支え合いの態度を育む教育活動 (心の教育)」「互いに尊重し合う特別支援教育」「自分の生活を見つめ、よりよくしていく健康教育 (健康・体力の向上)」「地域の人、地域にあるものを大切に思う学習や活動、防災教育の推進」の6つを重点目標として教育活動に取り組んでまいりました。令和5年度の教育活動を振り返り、学校評価の最終報告をお知らせいたします。

1 令和5年度の学校評価報告 (後期)

	評価項目	達成率	評価
授業改善	① 学習課題の解決に向けて、興味・関心をもって学習に取り組んでいる (児童アンケート No.4)	91.9% (91.3%)	A (A)
	② タブレット端末を使って自分の考えを伝えたり、友だちの考えと比べながら考えたりすることができている。 (児童アンケート No.3)	91.9% (94.8%)	A (A)
	③ 授業で話し合った内容を取り入れて、学習の『振り返り』を書くことができています。 (児童アンケート No.5)	80.4% (87.7%)	A (A)
	④ 授業において、児童の気づきや疑問をもとに興味・関心を喚起し、学ぶ意欲を高める学習課題を設定している。 (職員評価①)	94.0% (88.0%)	A (A)
	⑤ 授業において、タブレット端末を活用した意見交流や課題の解決に向けた話し合い活動など、対話的な学習活動が充実するようにした。 (職員評価②)	85.0% (79.5%)	A (B)
	⑥ 授業の終末での振り返りや家庭学習における「授業日記」に継続的に取り組み、学んだことを自覚させるようにした。 (職員評価③)	85.0% (75.6%)	A (B)
心の教育	① 友だちの気持ちを考えて、やさしい態度で接したり、温かな言葉かけをしたりしている。 (児童アンケート No.9、No10)	94.2% (96.5%)	A (A)
	② 友だちのよいところを見つけ、励まし合い協力しながら生活することができている。 (児童アンケート No.12、No.13)	91.8% (91.3%)	A (A)
	③ 「なないろ班 (縦割り班) 活動」などで、仲良く力を合わせて活動することができている。 (児童アンケート No.14)	92.4% (96.5%)	A (A)
	④ 相手の話をきちんと聞くこと、「ありがとう」「ごめんなさい」を素直に言うことについての指導を徹底し、互いを大切にする気持ちを醸成する。 (職員評価①)	97.3% (88.0%)	A (A)
	⑤ 自分たちの学級のよいところや改善すべきところについて話し合い、協働的に問題解決を図る経験をさせ、自分や自分たちの学級が成	83.3% (82.0%)	A (B)

	長しているという実感を味わわせる。(職員評価②)		
	⑥ ペア学年も合同授業や「なないろ班(縦割り班)活動」等による異学年交流の充実を図り、丁寧に活動の振り返りを行うことを通して、自他のよさや成長を認め合う機会とする。(職員評価③))	70.0% (70.0%)	B (B)
特別支援	① 「曾根小スタンダード(UDLチェックリスト)」の項目の教職員達成率が80%以上になる。(UDLチェックリストで「かなりやっている」「やっている」と回答した割合)(職員評価①)	89.8% (84.1%)	A (A)
	② 「個別の指導計画」に基づき、個に応じた適切な支援・配慮を行うことができている。(職員評価②))	90.0% (97.0%)	A (A)
	③ 特別な支援・配慮を要する児童についての理解に努め、個に応じた指導・支援に有効に活かしている。(職員評価③)	100.0% (100.0%)	A (A)

- ・【評価基準】達成率が、80%以上=A、70%以上～80%未満=B、Bに至らない=C
- ・達成率及び評価の欄の()内の数値等は前期の結果

2 分析及び次年度へ向けて

授業改善	<ul style="list-style-type: none"> ・③が前期に比べ低くなりました。後期から開始した低学年が、取り組みを始めて間もない時期にアンケートを行ったことが影響していると考えられます。③に相対する職員評価⑥は、大きく伸びていることから、「振り返り」への意識が高まり厳しい評価をつけた児童が多かったこともあげられます。 ・④⑤については、授業研究を含めた授業改善への取組が進んだこと、日々の授業で「曾根小話し方・聞き方スキル」意識しながら、対話的な学習活動に取り組んだことなどから、前期よりも改善しました。 <p>◇次年度に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取組で結果が出つつある対話的な学習活動をさらに進め、児童一人一人の学びの深化につなげられるようにしていきます。また、主体的な学びの実現に向け、探究的な学習の充実を進めます。
心の教育	<ul style="list-style-type: none"> ・⑤について前期は教員と児童の評価に大きなズレがありました。後期は「学級力プロジェクト」を導入し、学級の課題の「見える化」を図り、児童が学級の成長を実感できるように取り組みました。学級により若干取組の差はありますが、継続し改善を進めていきます。 ・自己肯定感に関するアンケート結果は、90%以上の児童が肯定回答をしています。しかし、10%弱の児童は自己肯定感が低い状態のため、個別に見取って支援する必要があります。 ・③と⑥については、前期後半から後期にかけて、異学年で活動する行事が多くありました。 <p>◇次年度に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学級力プロジェクト」をさらに進め、児童が主体的に学級の問題を解決していけるよう取り組みます。また、異学年交流の機会を増やし、心の成長を促すようにします。
特別支援	<ul style="list-style-type: none"> ・①については、前期よりも向上しています。次年度も引き続き、児童が学びやすい環境整備や授業形態の工夫に努めていきます。 ・生活指導部と連携しながら児童理解の会を設定し、個別の指導計画や支援計画に沿った指導や支援ができるように共通理解を進めました。 <p>◇次年度に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象となる児童の困り感が軽減されるように努めるとともに「曾根小スタンダード」に沿った適切な配慮ができるようにしていきます。

◎ 後期学校評価の詳細なデータ(児童アンケート及び保護者アンケートの集計)は、曾根小学校のホームページにも掲載しております。あわせて御覧ください。

新潟市立曾根小学校ホームページ

<http://www.nisihikawa-sone-e.city-niigata.ed.jp/>

※ 裏面に、保護者アンケートの御意見一覧を掲載いたしました。アンケートへの御協力たいへんありがとうございました。

(文責 学校評価担当 佐藤 智範)

